

第6章 安全管理 新旧対照表（主な変更箇所のみ抜粋）

ページ	新	ページ	旧	改正理由
	<p>○文章校正による削除、修正、追加</p> <p>○年度更新による修正</p> <p>○睡眠中の窒息リスクの除去方法についての追加修正</p> <p>○プライベートゾーン等に関する教育啓発についての追加</p> <p>○熱中症について追加修正および特別警戒アラートについて追加</p>			
	本文		本文	
6	<p>I 安全管理の基本的な考え方</p> <p>2 事故防止対策</p> <p>(2)重大事故の発生防止対策</p> <p>①重大事故が発生しやすい場面ごとの注意事項</p> <p>睡眠中の窒息リスクの除去の方法</p> <p>・医学的な理由で医師からうつぶせ寝をすすめられている場合以外は、乳児の顔が見える仰向けに寝かせることが重要。何よりも一人にしないこと、寝かせ方に配慮を行うこと、安全な睡眠環境を整えることは、窒息や誤飲、けがなどの事故を未然に防ぐことにつながる。</p> <p>・柔らかい布団やぬいぐるみ等を使用しない。</p> <p>・ヒモまたはヒモ状のものを置かない。</p> <p>・口の中に異物がないか確認する。</p> <p>・ミルクや食べたもの等の嘔吐物がないか確認する。</p> <p>・子どもの数、職員の数に合わせ、定期的に子どもの呼吸・体位、睡眠状態を点検すること等により、呼吸停止等の異常が発生した場合の早期発見、重大事故の予防のための工夫をする。</p>	6	<p>I 安全管理の基本的な考え方</p> <p>2 事故防止対策</p> <p>(2)重大事故の発生防止対策</p> <p>①重大事故が発生しやすい場面ごとの注意事項</p> <p>睡眠中の窒息リスクの除去の方法</p> <p>・医学的な理由で医師からうつぶせ寝を勧められている場合以外は、子どもの顔が見える仰向けに寝かせる。</p> <p>・柔らかい布団やぬいぐるみ等を使用しない。</p> <p>・ヒモ及びヒモ状のものをそばに置かない。</p> <p>・口の中に異物がないか確認する。</p> <p>・定期的に子どもの呼吸・体位、睡眠状態を点検すること等により、呼吸停止等の異常が発生した場合の早期発見、重大事故の予防のための工夫をする。</p>	教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドラインの文言に修正
8	<p>3 発達の特徴と安全教育</p> <p>子どもや保護者等へのプライベートゾーン等に関する教育啓発</p> <p>子どもは、性被害にあった場合でも、それが性被害であること自体を認識できない、認識できたとしても周囲の大人たちに被害を申告しづらいといった傾向があるとされている。子どもたちを性犯罪・性暴力の加害者、被害者、傍観者にさせないため、子ども及びその保護者等に対し、「生命(いのち)の安全教育」の教材の活用等により、プライベートゾーン等について、分かりやすく、親しみやすい形での啓発の実施が重要である。</p> <p>【参考】・「子ども・若者の性被害防止のための地方公共団体の取組及び教育・保育施設等における子どもや保護者等に対する啓発等について」(子ども家庭庁 令和5年9月)</p>	8	<p>3 発達の特徴と安全教育</p>	国からの通知を追加

第6章 安全管理 新旧対照表（主な変更箇所のみ抜粋）

ページ	新	ページ	旧	改正理由
38	<p>Ⅱ 事故対策</p> <p>1 事故への対応</p> <p>(1)事故・傷病発生時の対応</p> <p>③緊急連絡先等の掲示</p> <p>(感染症集団発生時)</p> <p>感染症対策課</p> <p>791-7081</p>	38	<p>Ⅱ 事故対策</p> <p>1 事故への対応</p> <p>(1)事故・傷病発生時の対応</p> <p>③緊急連絡先等の掲示</p> <p>区健康課</p> <p>●はちの巣除去</p> <p>☎ 092-741-0050(平日9:00～17:00受付)</p> <p>・福岡ペストコントロール協同組合</p> <p>(電話による相談、事業者紹介等。無料、通話料のみ)</p>	機構変更のため
69	<p>つくば中毒110番</p> <p>24時間対応</p> <p>2 応急処置について</p> <p>(4)病気と対応</p> <p>熱中症</p> <p>分類 症状 重症度</p> <p>I 度(軽症)</p> <p>現場で対応し経過観察</p> <p>・意識ははっきりしている</p> <p>・めまい・立ちくらみ</p> <p>・手足のしびれ</p> <p>・筋肉のこむら返り</p> <p>II 度(中等症)</p> <p>医療機関受診</p> <p>・吐き気、吐く</p> <p>・頭痛</p> <p>・倦怠感</p> <p>・意識がなんとなくおかしい</p> <p>III 度(重症)</p> <p>救急車要請</p> <p>・意識がない</p> <p>・呼びかけに対し返事がおかしい</p> <p>・けいれん</p> <p>・まっすぐ歩けない</p> <p>・からだが熱い</p>	69	<p>つくば中毒110番</p> <p>9～21時対応</p> <p>2 救急処置について</p> <p>(4)病気と対応</p> <p>熱中症</p> <p>分類 症状 重症度</p> <p>I 度(軽症)</p> <p>水分塩分を補給</p> <p>・めまい、失神・筋肉痛、こむらがえり・大量の発汗</p> <p>II 度(中等症)</p> <p>自分で水分を摂れなければ受診</p> <p>・頭痛、気分不快、吐き気 嘔吐、倦怠感、虚脱感</p> <p>III 度(重症)</p> <p>至急救急車を要請</p> <p>・意識障害、痙攣、手足の運動障害(まっすぐ歩けない)・高体温</p>	文言を修正。熱中症環境保健マニュアル2022より引用
69	<p>② 脱衣と冷却</p> <p>・衣服を緩め、体から熱の放散を助ける。</p> <p>・皮膚を濡らして、うちわや扇風機で扇いだり、氷やアイスパックなどで冷やす。冷やした水のペットボトル、ビニール袋入りのかち割り氷、氷のうなどを首の付け根の両側脇、脇の下、大腿の付け根の前面・股関節部に広く当てて、皮膚直下を流れている血液を冷やすことも有効。</p>	69	<p>② 脱衣と冷却</p> <p>・衣服を脱がせて、体から熱の放散を助ける。</p> <p>・露出させた皮膚に濡らしたタオルやハンカチをあて、うちわや扇風機などで扇ぐことにより体を冷やす。冷やした水のペットボトル、ビニール袋入りのかち割り氷、氷のうなどを首の付け根の両脇、脇の下、大腿の付け根・股関節部に当てて、皮膚の直下を流れている血液を冷やすことも有効。</p>	
		70	<p>④ 医療機関へ運ぶ</p> <p>◎実際に、医療機関を受診する熱中症の10%弱がⅢ度ないしⅡ度で、医療機関での輸液(静脈注射による水分の投与)や厳重な管理(血圧や尿量のモニタリング等)、肝障害や腎障害の検索が必要となってくる。</p>	削除

第6章 安全管理 新旧対照表（主な変更箇所のみ抜粋）

ページ	新	ページ	旧	改正理由
70	<p>◆熱中症特別警戒アラート</p> <p>・広域的に過去に例のない危険な暑さ等により、熱中症救急搬送者の大量発生を招き、医療の提供に支障が生じるようなおそれがある場合に発表。（都道府県内全ての暑さ指数情報提供時点において暑さ指数35以上となる時）</p> <p>※特別警戒アラートが出たら・・・熱中症予防の徹底 運動、外出、イベント等の中止や延期の検討 勧奨</p>			熱中症特別警戒アラートを発表する制度が環境省において創設されたため、追加